

第47期中間事業報告書

(平成15年2月1日～平成15年7月31日)

証券コード：7956



社団法人発明協会

第25回未来の科学の夢 絵画展 小学校・中学校の部 優秀賞「あん心ぐつ」青森県十和田市立深持小学校2年 中野渡 雄太くん

このくつは、歩いた道じゅんをおぼえていて、帰りたくなればいつでも来た道をもどってくれます。山さいとりや、山のぼりの人たちが、そうなんしなくなればいいなと思って、このくつを考えました。

ピジョン株式会社

決算ハイライト

売上 **4.0%増**

(連結売上高 / 前年中間期比)

前年中間期に比べ6億72百万円増の173億18百万円となりました。出生率低下の影響で国内育児用品市場は伸び悩みましたが、子育て支援事業は順調に拡大し、海外子会社もSARS(サーズ)の影響は限定的で好調に推移いたしました。

損益 **26.9%増**

(連結経常利益 / 前年中間期比)

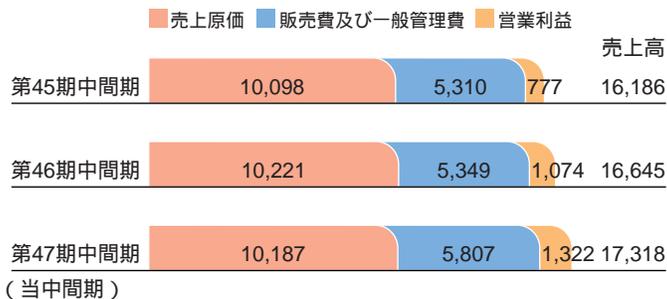
販売促進費は増加しましたが、ピー・エイチ・ピー兵庫(株)の完全子会社化と生産子会社におけるコストダウンが奏効し、営業利益は前年中間期比23.0%増となりました。これを受けて経常利益は2億61百万円増加し、12億36百万円となりました。

資産 **2.8%減**

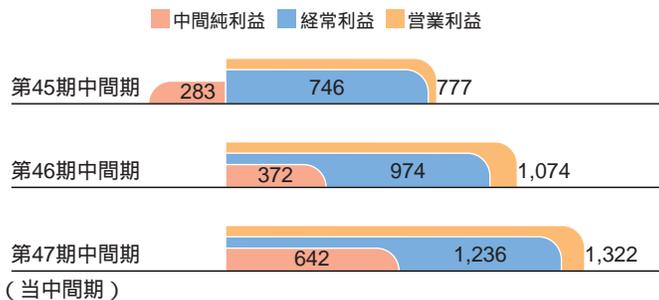
(連結総資産 / 前期末比)

総資産は前期末に比べ8億83百万円減少し、309億50百万円となりました。流動資産の5億51百万円増に対し、固定資産は14億35百万円減少しました。これは、資産効率の改善を図り、投資有価証券の圧縮を進めたことによるものです。

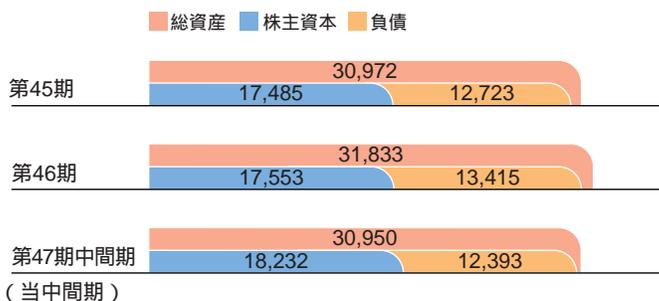
売上高と原価・経費の推移 (単位: 百万円)



利益の推移 (単位: 百万円)



財務の構成 (単位: 百万円)



21世紀の成功企業となるべく、 グループ一丸となって尽力してまいります。



平成15年10月 代表取締役社長

杉村 健一

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。日頃のお引き立てに対し厚く御礼申し上げます。

当社グループは、21世紀における発展の基盤を確固たるものとするため、増収増益体制の確立を目指す中期3ヵ年経営計画「企業価値の創造21」に取り組んでおります。2年目となる当中間期では、最重要課題に掲げる「子育て支援事業の拡大」「海外事業の拡大」「事業効率化のさらなる推進」の順調な遂行により、連結・単独ともに前中間期を上回る実績を達成いたしました。

とくに子育て支援事業に関しましては、事業シナジーの向上を目指し、本年8月1日に100%子会社のビジョンキッズワールド(株)に対して、受託運営の保育・託児事業およびベビーシッター事業を営業譲渡いたしました。併せて、商号を「ビジョンハーツ株式会社」に変更し、当社グループの子育て支援事業の中核と位置づけ、事業展開を加速いたします。

また、主要販売先への資本参加により国内市場への商品供給力のさらなる充実を図ってまいります。

下期におきましても、当社グループのコスト競争力とビジョンブランドの認知強化に経営資源を集中し、企業価値の向上に力を尽くす所存であります。

株主の皆様におかれましては、一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

「企業価値の創造21」の推進により増収増益体制を構築。 連結・単独ともに前年同期比を上回りました。

わが国経済は、株式市場には若干回復の兆しが見られるものの、設備投資、個人消費ともに引続き低調に推移いたしました。このような状況のもと、当社グループは中期3ヵ年経営計画「企業価値の創造21」の2年目として、積極的な経営戦略、販売戦略を展開し、迅速な意思決定が行える社内環境を構築するとともに、グループの総合力で収益構造を見直し、コスト競争力を強化することで、増収増益体制の構築に傾注いたしました。

育児事業の概況

育児用品においては、低価格化は下げ止まり傾向を示すものの、引続き厳しい状況の中、新商品「おしっこ吸収ライナー」「親子で乳歯ケア(シリーズ)」等が売上高に貢献いたしました。とくに「おしっこ吸収ライナー」は、ベビー用パンツ型紙おむつの1日の使用枚数を約半分に節約できる経済性とゴミの減量を可能にした新発想ライナーとして好評を得ており、今後も売上高に大きく貢献するものと考えております。

子育て支援事業は、これまで受託運営の託児施設であったNFキッズランドが東京都の認証保育所として認可され、「ピジョンランド練馬高野台」として運営をはじめました。事業所内保育園は、株式会社日立製作所、トヨタ自動車株式会社、万有製菓株式会社、関東労災病院からの受託をはじめ件数が増加しております。また、日本航空株式会社からは空

港スタッフと客室乗務員向けの「スマイルサポートサービス研修」を委託されるなど、子育て支援サービスの幅広いニーズに対応しております。一方、ピジョンキッズワールド(株)においては阪急電鉄株式会社、京阪電気鉄道株式会社から複数のセンター運営を受注するなど、前年同期を上回る売上高を達成しております。

海外部門は、SARSの影響もみられましたが、「体温計」「除菌ウェットナップ」などの特需もあり、全般的に輸出は好調に推移いたしました。地域別では台湾、韓国、中近東が、商品別では「哺乳器」「母乳関連商品」「おしゃぶり&トイ」等が好調でした。海外子会社ではPIGEON INDUSTRIES (THAILAND) CO.,LTD.の「ウェットナップ」「母乳パッド」が伸長し、とくに「母乳パッド」はアメリカの量販店ウォルマート向けOEM(相手先ブランド)商品が



(ウォルマート向けOEMの母乳パッド)

大幅に売上を伸ばしております。今後も「ウェットナップ」「母乳パッド」を世界戦略商品として販売を拡大してまいります。また、PIGEON(SHANGHAI)CO.,LTD.は、当中間期決算ではSARSの影響もあり黒字化には至っておりませんが、急拡大する中国マーケットでの販売シェア獲得基盤の構築により、当期中の黒字化を見込んでおります。

ヘルスケア事業の概況

当中間期より事業区分名をこれまでの「介護」から「ヘルスケア」に変更いたしました。

当事業の核となる「尿とりパッド」は、主な販売先であるドラッグストアの介護用品コーナーで主力商品に位置づけられておりますが、価格競争は依然として熾烈な状況にあります。市場でのシェアアップと販売額の増加に向けて積極的な営業活動と生産のコストダウンを行った結果、紙おむつとともに売上目標および前年同期実績を上回りました。しかしながら新商品「快適パッドゆるやかカーブ」は、既存商品との違いが生活者に十分伝えられず、売上目標に達しませんでした。一方、在宅介護支援サービスの関連会社ピジョン真中(株)は、開設3年目にあたる当期中に黒字化を達成する見込みです。



その他事業の概況



(マタニティ向けスキンケア用品)



(ハーブティー)

当事業の中心となる女性ケア用品は、快適なマタニティライフのための「サプリメント」と「ハーブティー」、妊娠線予防などのスキンケア用品、産前産後のインナーウェア等が前年同期実績を大幅に上回りました。一方、新商品の尿吸収ライナー「キュアケア ピーチライナー」は、小売店での定番化が進まず、売上目標に達しませんでした。

当中間期の業績について

当中間期の連結の業績は、売上高173億18百万円(前年同期比4.0%増)、経常利益は12億36百万円(同26.9%増)、中間純利益は6億42百万円(同72.7%増)となりました。なお、中間配当金は1株当たり普通配当8円といたしました。また、当社単独の当中間期の業績は、売上高150億64百万円(前年同期比0.6%増)、経常利益は7億31百万円(同14.7%増)、当中間純利益は4億46百万円(同47.7%増)となっております。

事業別売上高構成比

育児事業

82.2%

14,229

ヘルスケア
事業

11.3%

1,961

その他
事業

6.5%

1,126

連結売上高

17,318

(単位:百万円)

連結貸借対照表(要旨)

(単位：百万円)

	第47期中間期末 平成15年7月31日現在	第46期中間期末 平成14年7月31日現在	第46期末 平成15年1月31日現在
資産の部			
流動資産	14,479	15,262	13,927
固定資産	16,471	15,481	17,906
1 資産合計	30,950	30,744	31,833
負債の部			
流動負債	9,847	11,388	10,376
固定負債	2,545	2,010	3,038
2 負債合計	12,393	13,398	13,415
少数株主持分	324	776	865
資本の部			
資本金	5,199	5,199	5,199
資本剰余金	5,134	5,133	5,133
利益剰余金	8,508	7,907	8,033
その他有価証券評価差額金	18	332	175
為替換算調整勘定	313	309	341
自己株式	277	1,028	296
3 資本合計	18,232	16,569	17,553
負債、少数株主持分及び資本合計	30,950	30,744	31,833

(注) 1. 有形固定資産の減価償却累計額 12,060百万円 11,229百万円 11,500百万円
 2. 1株当たり中間 当期 純利益 32円17銭 19円05銭 43円02銭
 3. 中間連結財務諸表規則の改正により、当期から資本の部の表示方法を変更したため、前中間期末および前期末についても同一の基準で組み替えて表示しています。
 百万円未満は切り捨てています。

財務情報 みどころ勘所

ROAって何？

よく目にする財務指標に「ROA」があります。これは総資産利益率のことで、企業が調達した資金をいかに効率よく使い収益をあげているかを表します。利益を総資産で割った比率を%で示します。「利益」には当期純利益を当てることもありますが、経常利益を当てはめることが多いようです。当社では第48期末の連結ROA8%を目標にしています。

Point 1

連結資産

夏の需要期のため前期末に比べ売上債権残高が増加したほか、ピー・エイチ・ビー兵庫(株)の完全子会社化により原材料など棚卸資産も増え、流動資産は5億51百万円増加しました。また、固定資産は持合株式を含めた投資有価証券の売却などにより、14億35百万円減少しました。

Point 2

連結負債

前期末に比べ流動負債は5億28百万円減少しました。また長期借入金返済を進めたことにより、固定負債は4億93百万円減少しました。有利子負債は前期末の45億13百万円から15億44百万円減少し、29億69百万円となりました。

Point 3

連結株主資本

資本合計は前期末に比べ6億79百万円増加しました。中間純利益が大幅に改善し6億42百万円となったほか、その他有価証券評価差額金が1億56百万円改善したことなどによりです。負債圧縮の一方で株主資本が増加したことにより、当中間期の連結株主資本比率は58.9%へ上昇しました。

〔連結の範囲に関する事項〕 次の11社を連結の対象にしています。
 ビジョンホームプロダクツ株式会社 ビジョンウィル株式会社
 ビジョンキッズワールド株式会社 ビジョンクオリティオプライン株式会社
 ピー・エイチ・ビー兵庫株式会社 PHP茨城株式会社 ビジョン真中株式会社
 PIGEON SINGAPORE PTE.LTD. PIGEON (SHANGHAI) CO.,LTD.
 PIGEON INDUSTRIES (THAILAND) CO.,LTD. THAI PIGEON CO.,LTD.

〔持分法の適用に関する事項〕 次の2社について持分法を適用しています。
 クラフレックス茨城株式会社 P.T. PIGEON INDONESIA

PHP茨城(株)は本年7月に(株)フクヨー茨城から商号変更をいたしました。
 また、P.T. PIGEON INDONESIAは本年5月にP.T. MODERN PIGEON INDONESIAから商号変更をいたしました。

連結損益計算書 (要旨)

(単位: 百万円)

	第47期中間期 平成15年2月1日から 平成15年7月31日まで	第46期中間期 平成14年2月1日から 平成14年7月31日まで	第46期 平成14年2月1日から 平成15年1月31日まで
4 売上高	17,318	16,645	33,057
売上原価	10,187	10,221	19,782
販売費及び一般管理費	5,807	5,349	10,777
営業利益	1,322	1,074	2,497
営業外収益	184	195	385
営業外費用	270	295	563
5 経常利益	1,236	974	2,319
特別利益	3	5	6
特別損失	117	95	497
税金等調整前中間(当期)純利益	1,122	884	1,828
法人税、住民税及び事業税	247	202	792
法人税等調整額	166	203	17
少数株主利益	65	106	203
中間(当期)純利益	642	372	849

百万円未満は切り捨てています。

Point 4

連結売上高

国内では一時ほどの価格競争は静まりましたが、市場環境は依然として厳しい状況が続きました。一方、子育て支援事業は、事業機会が増大しており、事業所内保育園などをはじめ順調に展開しております。海外事業も北米や中国、韓国などで売上が拡大し、順調に推移しております。

Point 5

連結経常利益

経常利益は前年同期に比べ26.9%増加しました。これは、ピー・エイチ・ピー兵庫(株)の完全子会社化や生産子会社におけるコストダウンが奏効し、売上総利益率が前年同期比2.6ポイント改善したことが主な要因です。さらに中間純利益は72.7%増と大幅な増益となりました。

連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

(単位: 百万円)

	第47期中間期 平成15年2月1日から 平成15年7月31日まで	第46期中間期 平成14年2月1日から 平成14年7月31日まで	第45期中間期 平成13年2月1日から 平成13年7月31日まで
6 営業活動によるキャッシュ・フロー	976	936	559
投資活動によるキャッシュ・フロー	61	53	1,224
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,759	1,126	878
現金及び現金同等物に係る換算差額	3	11	4
現金及び現金同等物の増減額	725	124	1,547
現金及び現金同等物の期首残高	3,137	3,873	4,050
現金及び現金同等物の中間期末残高	2,412	3,748	2,503

百万円未満は切り捨てています。

Point 6

連結キャッシュ・フロー計算書

増益に伴い法人税等の支払額も増加したため、営業活動によるキャッシュ・フローの収入は前年同期と比べ40百万円増加し9億76百万円となりました。投資有価証券売却などにより投資活動によるキャッシュ・フローの収入は、7百万円増加し61百万円となりました。財務活動によるキャッシュ・フローの支出は、主に借入金返済を進めたことにより、前年同期より6億33百万円増加し17億59百万円となりました。

単独貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

	第47期中間期末 平成15年7月31日現在	第46期中間期末 平成14年7月31日現在	第46期末 平成15年1月31日現在
資産の部			
流動資産	11,730	13,450	11,462
固定資産	13,189	14,475	14,920
資産合計	24,920	27,925	26,383
負債の部			
流動負債	6,158	9,823	7,543
固定負債	833	1,295	1,367
負債合計	6,992	11,118	8,911
資本の部			
資本金	5,199	5,199	5,199
資本剰余金	5,134	5,133	5,133
利益剰余金	7,890	7,836	7,611
その他有価証券評価差額金	18	333	175
自己株式	277	1,028	296
資本合計	17,928	16,807	17,472
負債及び資本合計	24,920	27,925	26,383

- (注) 1. 有形固定資産の減価償却累計額 7,628百万円 7,534百万円 7,434百万円
 2. 1株当たり中間(当期)純利益 22円36銭 15円48銭 21円72銭
 3. 中間財務諸表等規則の改正により、当期から資本の部の表示方法を変更したため、前中間期末および前期末についても同一の基準で組み替えて表示しています。
 百万円未満は切り捨てています。

単独損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

	第47期中間期 平成15年2月1日から 平成15年7月31日まで	第46期中間期 平成14年2月1日から 平成14年7月31日まで	第46期 平成14年2月1日から 平成15年1月31日まで
売上高	15,064	14,969	29,503
売上原価	9,391	9,570	18,755
販売費及び一般管理費	5,040	4,719	9,333
営業利益	633	679	1,414
営業外収益	283	170	262
営業外費用	185	212	397
経常利益	731	637	1,279
特別利益	2	85	85
特別損失	106	207	603
税引前中間(当期)純利益	626	515	761
法人税、住民税及び事業税	103	57	377
法人税等調整額	75	155	45
中間(当期)純利益	446	302	429
前期繰越利益	4,110	4,171	4,171
自己株式処分差損			198
中間配当額			152
中間(当期)未処分利益	4,557	4,474	4,249

百万円未満は切り捨てています。



子育て支援事業について

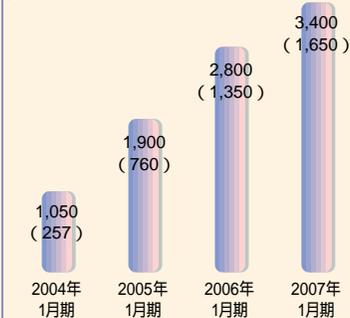
時代の要請を追い風に、 ビジョンブランドの信頼性で 業界ナンバーワンの地位を不動のものに。

ビジョンハーツ株式会社を中核に 事業展開のさらなる加速を。

子育て支援事業は、育児関連用品を扱う当社が、長年にわたる乳幼児発達研究から培われた独自のノウハウを、ソフトサービスの領域へ深化させた成長分野です。国の2000年の認可保育園に関する民間企業への規制緩和や待機児童ゼロ作戦、企業等の事業所内保育施設の開設数増加など好材料に恵まれ、業績は順調に推移し、すでに業界トップの地位を確立しています。今後ますます、育児用品の販売と子育て支援事業とのブランドシナジーを發揮し、マーケットでの存在感や競争優位性を確固たるものとするため、本年8月1日に、100%子会社であるビジョンキッズワールド(株)へ当社の受託運営の保育・託児事業およびベビーシッター事業を営業譲渡し、商号を「ビジョンハーツ株式会社」に変更、子育て支援事業の中核に位置づけました。5年後(2009年度)の売上高は50億円を目標にしております。子育て支援事業の大半を集約したことで、機動的な経営を推進するとともに、柔軟かつスピーディな対応力および多様なメニューで業界ナンバーワンの地位を不動にし

てまいります。

ビジョンハーツ(株)の売上高の見通し
(単位：百万円)



()内は、ビジョン(株)から営業譲渡した事業の売上高の見通しを表示しています。

ビジョンハーツ(株)概要

事業コンセプト	子どもの発達支援、女性の就労と子育ての両立支援、社会との調和
主な事業内容	保育・託児施設運営およびベビーシッター事業 英語教育を中心とした保育・託児施設
代表取締役	須郷達也(当社執行役員子育て支援事業部担当)
資本金	100百万円
当社との関係	100%子会社

すでに開園しているビジョンランド6園については認可取得済または申請中の事情等により営業譲渡の対象となりません。

コンビ株式会社との経営統合は、 お互いの発展性を 尊重した結論に至りました。

当社はコンビ株式会社と子育て支援事業を事業統合することについて、本年2月3日の基本合意以来、数十回にわたり具体的な検討を重ねてまいりましたが、5月27日本統合を見送ることを発表いたしました。

子育て支援事業分野は官製市場の規制緩和により急速に拡大するマーケットであり、両親会社とのブランドシナジーによって、スピーディに事業展開し、日本で屈指の子育て支援事業を確立することが当初の目的でした。しかしながら、実務的な検討を重ねる中で、統合後の事業推進のあり方について双方の意見の相違が出て、調整に難航する局面が随所にみられるようになりました。お互いが妥協しあっての統合はそれぞれの強みを生かすきれない懸念もあるため、統合の検討を一旦止め、それぞれの強さを生かした展開をしていくことに結論に至りました。

株主の皆様からたくさんの「声」をお寄せいただき、誠にありがとうございます。ピジョンは皆様の声を大切に、ご期待にお応えするため努力を重ねてまいります。



ピジョングループとその事業についてお聞かせください。



ピジョングループは、当社と連結子会社11社で構成され、育児用品・介護用品の製造・販売さらに子育て支援サービスおよび介護支援サービスを行っており、その概要は以下のようになっています。

ピジョングループ / 事業内容	拠点	事業区分			業 態		
		育 児	ヘルスケア	その他	製 造	販 売 (サービス含む)	
ピジョン株式会社	国 内						
ピジョンホームプロダクツ株式会社 トイレタリー製品・乳首の製造							
ピジョンウィル株式会社 マタニティ用品の販売							
ピジョンハーツ株式会社 託児・幼児教育事業							
ピジョンクオリティオブライフ株式会社 健康食品の企画・販売							
PHP兵庫株式会社 不織布関連製品の製造							
PHP茨城株式会社 ウェットティッシュ製品の製造							
ピジョン真中株式会社 在宅介護支援サービス、介護用品の販売							
PIGEON SINGAPORE PTE.LTD. 乳幼児用品の製造・販売		海 外					
PIGEON (SHANGHAI) CO.,LTD. 乳幼児用品の製造・販売							
PIGEON INDUSTRIES (THAILAND) CO.,LTD. 乳幼児用品の製造							
THAI PIGEON CO.,LTD. 乳幼児用品の製造							

本年10月1日現在の社名で表示しております。

会社概要

(平成15年7月31日現在)

設立年月日 昭和32年8月15日
事業内容 育児用品・介護用品・マタニティ用品等の製造・販売および輸出入、ベビーシッターの請負ならびにこれに付帯関連する事業
資本の額 5,199,597千円
従業員数 379名

【主要事業所】

本社 東京都千代田区
事業所 茨城県稲敷郡阿見町
物流センター 茨城県稲敷郡阿見町・茨城県常陸太田市
兵庫県神崎郡神崎町
研究所 茨城県筑波郡谷和原村
営業所 札幌・仙台・大宮・東京・横浜・名古屋
大阪・広島・福岡 他1カ所
認可保育園 茨城県筑波郡谷和原村、東京都大田区
保育、託児施設 大阪府吹田市 他3カ所

役員

(平成15年10月1日現在)

代表取締役会長	仲田 洋 一
代表取締役社長	松村 誠 一
専務取締役 (経営企画室兼関連事業部兼 テキストスタイル事業部担当)	小川 徹 雄
常務取締役 (お客様相談室兼子育て支援事業部担当)	島田 弘 子
取締役 (社長付)	豊田 喜 夫
取締役 (マーケティング部担当)	倉 嶋 喬 貢
取締役 (R&Dセンター兼T・Q・Cセンター兼 CRPセンター担当)	高 橋 貢 喜
常勤監査役	牛 木 昭 博
常勤監査役	太 田 博 史
監査役 (非常勤)	杉 野 繁 茂
監査役 (非常勤)	西 山 尚 夫
常務執行役員 (営業本部担当)	勝 木 昭 夫
執行役員 (人事・総務部兼情報システム部担当)	大 越 昭 康
執行役員 (経理部担当)	高 島 繁 繁
執行役員 (関連事業部担当)	佐 藤 達 也
執行役員 (子育て支援事業部担当)	須 郷 達 也
執行役員 (マーケティング部担当)	田 中 公 義
執行役員 (R&Dセンター担当)	長 坂 明 美
執行役員 (T・Q・Cセンター担当)	山 本 春 美
執行役員 (海外事業部担当)	太 田 和 比 古

(注) 監査役 杉野 繁および西山 茂は、株式会社の監査等に関する商法の特例に関する法律第18条第1項に定める社外監査役であります。

株式の状況

(平成15年7月31日現在)

会社が発行する株式の総数	60,000,000株
発行済株式の総数	20,275,581株
株主数	12,202名
自己株式	286,322株*

*うち255,000株は、ストックオプション制度の採用により保有しているものです。

大株主 (上位10名)	持株数 (千株)	議決権比率 (%)
仲田洋一	6,260	31.46
資産管理サービス信託銀行株式会社	985	4.95
日本スタートラスト信託銀行株式会社	949	4.77
株式会社フクヨー	893	4.49
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	725	3.65
三井アセット信託銀行株式会社	561	2.82
ビジョン社員持株会	456	2.30
UFJ信託銀行株式会社	226	1.14
第一生命保険相互会社	223	1.12
バンクオブニューヨーク・ロップアリミテッド	189	0.95

お知らせ

2003年度の税制改正により、

- 2003年4月1日から2008年3月31日までの間に受け取る配当金につきましては、源泉徴収率は10%になりました。
- 少額配当申告不要制度の上限規制が撤廃され、当社の年間配当受領額が10万円を超える場合も、源泉徴収のみで納税を完了できるようになりました。また、確定申告をして配当税額控除を適用のうえ、総合課税を選択することも可能です。(当社の発行済株式総数の5%以上を所有する個人の株主の方を除きます。)
- 源泉分離選択課税制度(35%源泉徴収)は、2003年3月31日をもって廃止されました。詳しくはお近くの税務署にご確認ください。

株主メモ

決 算 期	毎年1月31日
定 時 株 主 総 会	毎年4月中
配 当 金	毎年1月31日(ただし、中間配当を行う場合は7月31日) 最終の株主名簿および実質株主名簿に登録されている株主 または登録質権者にお支払いいたします。
名 義 書 換 代 理 人	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱信託銀行株式会社
同 事 務 取 扱 場 所	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱信託銀行株式会社 証券代行部
同 事 務 連 絡 先 (お問合せ先) (郵便物送付先)	〒171-8508 東京都豊島区西池袋一丁目7番7号 三菱信託銀行株式会社 証券代行部 TEL 03-5391-1900(代表)
同 取 次 所	三菱信託銀行株式会社 全国各支店
手 数 料	名義書換 当社名義書換代理人へ直接お持込みの場合無料 新株券交付 その新株券発行に係る印紙税相当額
1単元の株式の数	100株
単 元 未 満 株 式 の 買 取 請 求 取 扱 場 所	上記名義書換代理人がお取り扱いいたします。ただし、 実質株主名簿に登録(株券保管振替制度により株券を預託) されている場合は、お取引の証券会社等にお申し出ください。
公 告 掲 載 新 聞	日本経済新聞 決算公告については当社ホームページに掲載しています。 ホームページアドレス http://www.pigeon.co.jp/

当社の配当金は、お取引銀行口座への直接入金方法をご利用いただけますと、迅速、確実に受け取りにできます。

住所変更、配当金振込指定・変更、単元未満株式買取請求に必要な各用紙および株式の相続手続依頼書のご請求は、名義書換代理人のフリーダイヤル0120-86-4490で24時間承っておりますので、ご利用ください。



この報告書は、環境に優しい大豆油インキを使用
して印刷しています。



古紙配合率100%再生紙を使用しています